

## 「と、ば、たら、なら」のまとめ

「みんなの日本語」での該当課と例文

- ・「と」 23 課 ボタンを押すと、お釣りができます。
- ・「たら」 25 課 雨が降ったら、出かけません。
- ・「条件形」 35 課 話せば、大きければ、元気なら、鳥なら
- ・「なら」 35 課 スキーなら白馬がいいですよ。

### 1. 「と」 機械の使い方、自然の動き、道順などでよく使われる。

文末制限あり（後件に意志動詞不可）

×暖かくなると花見に行きましょう。

### 2. 「たら」 制約が少ない。

前件が、確実な未来のときには「たら」のみ使用可能。

本を読み終わったら、貸して下さい。

大阪に着いたら、電話してください。

### 3. 「ば、なら」

条件形は、動詞、い形容詞は「ば」、な形容詞、名詞は「なら」となる。

前件が動作動詞なら、後件には意志表現は不可。

但し、主語が変わればよい

明日、雨が降れば、仕事を休もう。

来週、桜が咲けば、花見に行こう。

前件が状態を表す動詞ならよい。

部屋が暑ければ、窓を開けてください。

分からなければ、いつでも聞いてください。

「ば」の後件は過去形とならないのが普通である。

但し、(1)話し手の後悔残念の気持ちを表す場合

鳥ならば、飛んで行けたのに。

お金があれば、旅行にいけたのに。

(2)過去の習慣を表す場合

子供の時、天気がよければ、外で遊んだ。

### 4. 「なら」

後件で、話し手のアドバイス、意志、意見等を表す。

（上記3の条件形とは少し違う：後件に意志表現も可能）

スキーなら、白馬がいいです。

「と、ば、たら」は前件、後件に時間的前後関係を必要とするが、「なら」は必ずしも必要としない。

例) 大阪へ行くなら、新幹線がよい。

「なら」の前件は、聞き手の発言によって知った事柄であることが多い。

例題 下記文で「と、ば、たら、なら」を入れ替えて使えるか。

		と	ば/なら	たら
1	ひまがあったら、手伝ってください	×	△	○
2	TVをつけると、ニュースをやっていた	○	△	○
3	コーヒーを飲むなら、あの店がいい	×	○	△
4	辞書を引けば、分かります	○	○	○
5	4月になったら、お花見に行きましょう	×	×	○
6	出来れば、早く帰りたい	×	○	○
7	朝起きると、すぐ水を飲む	○	△	○
8	パスポートが必要なら、持って行きます	×	○	△

注) △は、「～だったら」のように、形を変えることもある。